

# 平成22年度 学校自己評価システムシート ( 県立三郷特別支援学校 )

目指す学校像	児童生徒・保護者及び地域社会の期待に応え、信頼される元気な学校
--------	---------------------------------

重点目標	1 個別の指導計画に基づく授業の充実・改善 2 開かれた学校づくりと特別支援教育のセンター的機能の発揮 3 進路指導の充実 4 教育力を高める学校基盤強化
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	0名
	事務局(教職員)	8名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 ( 1月20日 現在 )				
番	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善策を着実に実施し、授業の充実に努めた。今年度もこの取組を継続していく必要がある。</li> <li>新学習指導要領の研修を進め、その改訂趣旨の実現に努める必要がある。</li> </ul>	授業改善策の継続と授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>a PDCAサイクルに基づき、指導計画の作成・実施・評価・授業改善を進める。</li> <li>b 個別の指導計画を活用すると共に、個別面談、懇談会等を充実させ、保護者へのきめの細かい情報提供を実施する。</li> <li>c 新学習指導要領に関する研修会を実施するなどして教職員の共通理解を形成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善がPDCAサイクルに基づき継続的に実施されている。</li> <li>個別の指導計画の活用、個別面談、懇談会等の学期1回以上の実施など、取組の充実がなされている。</li> <li>新学習指導要領に関する研修会が実施され、その後も研修が継続されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 各学部シートを活用し、年度当初に目標を提示し、年度末に反省を行い、次年度への課題と改善策を確認した。</li> <li>b 個別の指導計画を引き続き活用し、又、各学部とも学期1回以上の面談、懇談会等を行い、情報共有に努めた。</li> <li>c 新学習指導要領に関する研修会を実施し理解を深めた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きPDCAサイクルに基づいた授業改善等を進めていく。</li> <li>個別の指導計画の活用を今後も継続するとともに、面談、懇談会による情報共有に努める。</li> <li>学習指導要領に位置付けられた自立活動の充実について検討していく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域支援部を中心に特別支援教育のセンター的機能の充実に組織的に取り組んできた。今後は組織の整備、市教委等との連携の拡充、情報発信の充実を進める必要がある。</li> <li>学校見学会、HPについてはアンケートで評価が確認された。今後も継続して充実に努めていく。</li> </ul>	開かれた学校づくりと特別支援教育のセンター的機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 地域支援部の組織整備を進め、公開講座、教育相談、学校支援に効率的に取り組む。</li> <li>b 市教委、保護者、各学部との連絡を密にし、支援籍学習の更なる充実に努める。</li> <li>c 学校見学会等の学校公開の取組を引き続き充実させる。</li> <li>d 学部、学年、分掌等と連携し、HPの充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域支援部の運営が効率的、効果的になされている。</li> <li>市教委との連携、保護者、学部からの要望を生かし、支援籍学習の改善がなされている。</li> <li>学校見学会等の取組の充実がなされている。</li> <li>保護者、地域のニーズに応じたHPの充実、更新回数が増加がなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 地域支援部の運営が充実し公開講座2回、ボランティア講座6回他、多様な活動を実施、参加者の評価も高かった。</li> <li>b 支援籍学習の評価は概ね良好であるが、関係者との連携を含め改善すべき点がある。</li> <li>c 学校見学会等はアンケートの評価も概ね良好であった。</li> <li>d HPの更新回数が増加し、アクセス数5万件超となった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度の成果を踏まえ、地域支援部の組織的運営の充実に努めていく。</li> <li>支援籍学習の課題を整理し、次年度に向け対策を検討する。</li> <li>学校見学会等の充実に引き続き努める。</li> <li>HPの更新回数増加に加え、内容の充実についても検討していく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援ネットワークの活用、個別移行支援計画の策定と活用など、進路指導の取組は充実してきているが、さらにこの体制を整備する必要がある。</li> <li>早い時期からの進路指導の実施と児童生徒の進路意識の向上に関し、全教職員、保護者で共通理解を形成する必要がある。</li> </ul>	就労支援体制の充実と児童生徒の進路意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 就労支援ネットワーク及び個別移行支援計画の活用、企業向け学校見学会の実施等を通じて、総合的な進路指導体制を整備する。</li> <li>b 児童生徒の本校卒業後の自立の観点から進路指導の流れを整理するとともに、進路意識の向上を図る学習や、早期からの進路指導に取り組み、また保護者への情報提供を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援ネットワーク、個別移行支援計画等の位置付けが明確化されている。</li> <li>本校卒業後の自立の観点から進路指導の流れが整理され、教職員の共通理解が形成されている。</li> <li>早い段階からの児童生徒の進路意識向上のための指導がなされている。</li> <li>保護者への適切な情報提供がなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 就労支援ネットワーク、個別移行支援計画の活用が進んだ。又、保護者に資料提供を行い共通理解の形成に努めた。</li> <li>b 小学部を中心とした保護者対象の進路学習会を実施した。又全保護者対象のアンケートを実施し、保護者の進路指導に対する要望・意見を全職員で確認した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケートに示された要望・意見について、進路指導部をはじめ各学部で検討し、次年度当初に対応案を保護者に提示する。</li> <li>学校の進路指導の流れを次年度に向けてまとめ、保護者に提示する。</li> <li>進路に関する情報提供の充実に努める。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の安全確保には細心の注意を払っているが、引き続き事故防止に努めていく必要がある。</li> </ul>	安全・安心・信頼を柱とする学校の基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 安全確保のため、施設設備の点検整備、登下校時の安全指導、各種訓練等を引き続き実施する。また、危機管理事例等を検証していく。</li> <li>b 事故が生じた場合には迅速・適切な対応に努める。</li> <li>c 施設設備の整備を検討する。</li> <li>d 総合的な危機管理マニュアルを作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全確保のための具体的な方策が実施されている。</li> <li>事故発生時に保健室を中心として迅速に対応し、また、保護者への丁寧な説明に努めている。</li> <li>施設設備の検討がなされている。</li> <li>総合的な危機管理マニュアルが作成されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 安全点検等を継続して実施又児童生徒の安全確保に努め、大きな事故を防止してきた。</li> <li>b 児童生徒の怪我等について保健室を中心に迅速に対応し又保護者に丁寧に説明した。</li> <li>c 施設設備の整備は次年度以降も課題となっている。</li> <li>d 総合的な危機管理マニュアルを作成した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故防止、適切な事故対応に努めていく。事例検証は本年度実施できなかったため、次年度の実施を計画する。</li> <li>危機管理マニュアルの一層の充実を図り、改訂版を出す。</li> <li>施設設備の整備の検討を次年度も継続する。</li> <li>この領域の内容を次年度に向け整理し、検証していく。</li> </ul>

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成23年 2月 8日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>保護者アンケートなどから子どもが学校へ行くことを楽しみにしている様子が伺え、学校が子どもにとって本当に楽しい場所となっている実感がある。連絡帳等を通じての担任と保護者の情報交換が適切に行われている。授業は子ども一人一人の課題に応じた工夫がなされていると感じられる。教員間の授業に関するコミュニケーションがしっかりととれており、その成果として子どもの成長がみられている。</p> <p>学校の取組は概ね良好である。一方、障がいのある子供たちへの社会的認知はまだ充分とはいえない。社会的な啓蒙・啓発が必要であると考えるが、そのことを踏まえ、学校としてHPの更なる活用など、様々な機会を通して、積極的に特別支援教育に関する情報を発信して行ってほしい。</p> <p>現在の学校の取組は充実しており、満足のいくものである。保護者アンケートでは進路に対する危機感が小学部の保護者にも見受けられるので、保護者のニーズに沿った情報提供や親の学習の機会の設定など、さらに進路指導に関する取組を充実させてほしい。また、企業の側も就労に関する情報提供の充実を進めているので、学校がそのような情報を適宜保護者に伝達できる体制を整えていくことが望ましい。</p> <p>学校の取組は概ね良好である。企業では、過去に起きた不祥事に学び、常に危機意識を持って業務に臨むなど、社員への意識付けを行っている。また、危機管理マニュアルを作成し、日常的に点検をくり返している。このことを踏まえ、学校でも事例検証を行ったり、黒板等を活用してリスク管理の周知徹底を図るなどの工夫をさらに進めて行ってほしい。</p>	